



静岡市駿河区役所にて講演



静岡市駿河区の社会福祉協議会を窓口として、駿河区の民生委員の中の児童福祉部会より本会に講演依頼があった。

6月30日当日は渡辺顧問、井出代表、岡本副代表窪田・安本・瀧運営委員と6名が出席した。



まずはじめに、2010年からの児童虐待に関する新聞記事のスクラップを張り合わせた資料を提示した。70名の方々を取り囲むほどの量に驚かれたようであった。その中から県内の事件を追って簡単に解説。ついで、このような多くの事件から見えてくる大筋を、ストーリー仕立てにした紙芝居を井出代表が演じた。成育歴の中での愛情の欠如が、子どもの虐待を引き起こす原因となっていることが多い。民生委員さんたちは真剣に聞いてくださった。

最後に、出席した運営委員から一言ずつ話をして会を閉じた。



10月28日の第2回目は、1回目の講演を受け民生委員として担当地区でどのような取り組みができるか考えてきたことを、分科会で発表し合った。学校や

園からの情報の得方、朝夕の子どもへの声掛けマンション生活者への働きかけなどが話し合われ、運営委員も各分科会で積極的に意見を述べさせてもらった。そして、各分科会で出た意見の発表が行われご自分の地区で実行可能なものを採り入れる場となった。民生委員さんたちが児童虐待防止の最前線でご苦労されていることに感謝申し上げオレンジリボン運動を紹介させてもらって、会を閉じた。

支部の声



中野二三子
清水区支部長

清水区でも初めてチラシ配りをしました。草薙駅は学生も多く話しかけやすいだろうと思いましたが、殆どの方が耳にイヤホンを着けてスタスタと行っています。大変なことと腐りましたが、それでも丁寧に耳を傾けてくれる人もいて「本当にそんな事、あるのですか？」と心を痛める姿や「子どもだけの相談ですか？」と目で訴える人もいました。その方と、もっと話せばよかったと反省しました。チラシ配りは本当に地味な活動ですね。でも、1対1で声をかけることで虐待への関心は広がると実感しました。